

AI を用いた避難支援システムに対する認知

Public Perceptions of the AI system to Support Evacuation

米山 太賀 Taiga Yoneyama 範 懿 Fan Yi
石橋 真帆 Maho Ishibashi 横山 広美 Hiromi Yokoyama
関谷 直也 Naoya Sekiya

目 次

1. はじめに
 - 1.1 調査目的
 - 1.2 調査概要
2. AI に対する認知
 - 2.1 AI に関する用語の認知度
 - 2.2 AI に関する情報源
 - 2.3 各 AI に対する認知
 - 2.4 各 AI システムに対する主観的な理解度
 - 2.5 AI 技術に関するリスク管理を行う組織への認知
3. AI システムへの各認知の因子分析
4. おわりに

引用・参考文献

附属資料（調査項目の単純集計結果）

キーワード：AI、避難支援、アンケート調査、認知地図

執筆分担：

米山 太賀	東京大学大学院学際情報学府 修士課程	1. 2. 3. 4.
範 懿	元 東京大学大学院学際情報学府 修士課程	
石橋 真帆	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター	
横山 広美	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構／大学院情報学環	
関谷 直也	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター	1. 4.

1. はじめに

1.1 調査目的

現在 AI に関しては大きな関心もたれており、幅広い領域で利活用が検討・施行されている。一方で、AI 技術については技術的な期待と裏腹に懸念も持たれており、倫理的側面などの議論とともに利活用に対する指針が逐次構築されてきている（中川，2020）。

災害領域においても AI の利活用の試みは始まっている。シミュレーションや数値予報など観測・予測技術への応用が多いものの、行動の指南も試みられつつある。例えば避難への活用を図る技術に関しては、AI による人流シミュレーションを避難計画に活用するという試みや（野田・山下，2017；野田，2018）、位置情報と連動して AI が適切な経路を判断するという支援ツールの試用（アバナード，2024）などがなされてきている。

ところで、人の命がかかわる道德倫理の問題として「トロッコ問題」がある。これは多数の命を救うために一人の命を犠牲にするのか、もしくはそのような判断をしないのかなどの倫理を問う問題である。例えば人工知能（AI）などのシステムにおいては、人に代わって走行する自動運転が「どちらにハンドルを切っても被害の発生が予想される」という状況に陥った場合どう判断すべきかといった議題においてこの問題が引き合いに出される。結論が簡単に出るものではないということもよく知られている。

避難行動の AI 利用に関しても、本来は同根の課題を含んでいる。避難行動とは、災害時に生死が問われている場面で自分の命を守るために安全な場所に移動することである。だがそれは簡単ではない。例えば津波や洪水の避難においては、より高いところに避難することが肝要ではある一方で、津波や洪水の浸水の速度に鑑み遠くの高台まで避難する時間がない場合には近隣のより高い場所へ避難することになる。このとき、災害により被害様相は異なるので「ここに避難すれば大丈夫」などと指南することは本質的に不可能である場合が多い。渋滞している場合もあれば家屋倒壊・土砂崩落により道路が損壊している場合もあるし、地震後の避難などでは火災が発生している場合もある。だからこそ、災害時の避難では避難者が逐次変化する周囲の状況を判断して、避難方法や経路を主体的に判断し選択する必要がある。それらにアプリアリに正しいものなどは存在しない。

また、AI が避難において「完全な正解」を得るためにはその周囲の状況について必要な情報を完全に得る必要がある。不完全な情報ではむしろ危険な誘導を行うことになりかねない。だが災害時に完全な情報が手に入るということは考え難い。仮に「完全な正解を得ることはできない」という限界を前提としてリリースしたとしても、システムへの期待が

大きければいざ使用する側は「完全な正解」として判断を委ね、必要である主体性を失うことになりかねない。すなわち、本質的に AI に避難方法や避難経路を指南することは難しい。

だが、我々は避難行動を AI に委ねることを直観的にはよしとみなしてしまいがちであり、「災害避難を支援する AI システム」に対して多くの人々から素朴な期待が持たれているのは事実であろう。災害避難を支援する AI に対して利用者側である人々の認知を調査することは、このことを検証するという点で重要といえる。

そこで、本研究では他の AI を活用するシステムと比較しながら「災害避難を支援する AI システム」に対する人々の認知を調査し、その特徴について考察することを目的とする。

1.2 調査概要

調査の概要を表 1.2.1 に示す。調査は東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター関谷直也研究室により、オンラインアンケート調査を用いて行われた。調査期間は 2023 年 12 月 1 日から 2023 年 12 月 5 日の 5 日間であった。調査対象者は 20 歳から 69 歳までの 1000 名（平均年齢 44.91±13.54 歳）であり、サンプルは楽天インサイト株式会社の有するアンケートモニターを利用した。なお、対象地域は東京都に限定した。サンプルは性別（男性、女性）と年代（20 代、30 代、40 代、50 代、60 代）での均等割付により構成した。なお、本研究の調査は東日本大震災・原子力災害伝承館研究部門研究倫理審査委員会の承認のもと実施された（承認番号：2023-2-02）。

表 1.2.1 調査概要

調査主体	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター関谷直也研究室
調査期間	2023年12月1日から2023年12月5日
調査対象	東京都の20歳から69歳まで1000名 (性別, 年代で均等割)
調査方法	web調査
有効回答数	1000票
調査項目	AI技術にかかわる知識の有無, 技術的・倫理的印象, 技術を扱う組織への信頼度など

2. AI に対する認知

本章では、調査結果について各質問項目ごとに述べる。

2.1 AI に関する用語の認知度

まず、AI に関連する用語を知っているか否かを問うた。その結果が図 2.1.1 である。「人工知能 (AI)」について知っている人は 91.2%、生成系 AI は 53.3%、ディープラーニングと機械学習はそれぞれ 4 割強の認知度であった。その他の項目の認知度は 2 割未満であり、それほど認知されていないということが示された。

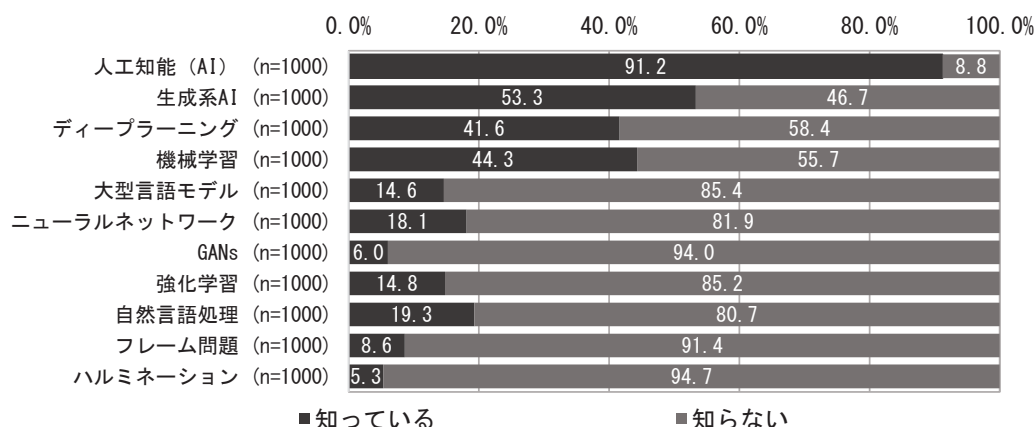


図2.1.1 AIに関する各用語の認知度

2.2 AI に関する情報源

図 2.2.1 は、各メディアについて、AI に関わる情報を得る頻度を問うたものである。「ほとんど毎日」と回答した割合に注目すると、インターネットのニュースサイトから情報を得ている割合が 20.5%と最も高く、次いでマスコミ (18.1%)、SNS (15.4%)、動画共有サイト (13.1%) の順でよく用いられているということが明らかとなった。一方で、官公庁や企業の公式ウェブサイト (それぞれ 0.7%、0.8%)、講義やセミナー (0.4%) など同回答の割合が少なかった。

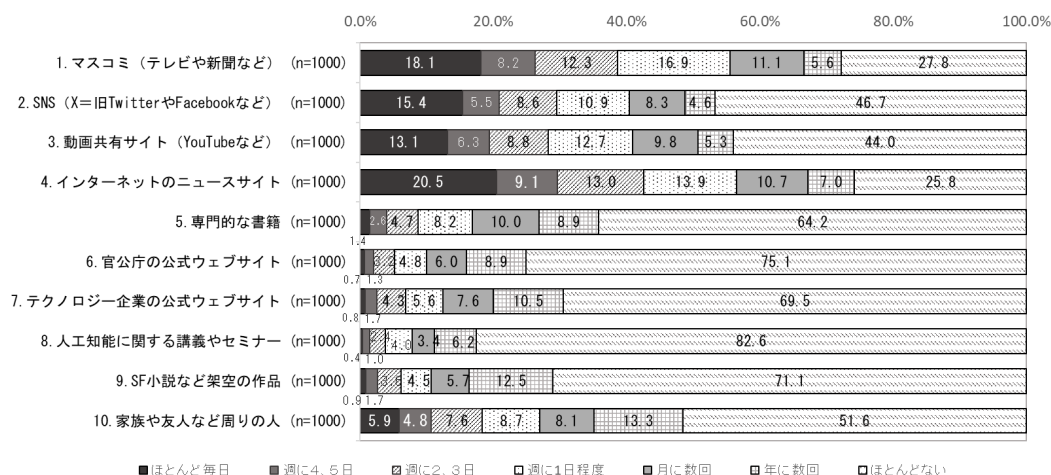


図 2.2.1 AI に関わる情報を得る頻度

2.3 各 AI に対する認知

各 AI システムに対し感じる危険度を問うたところ、図 2.3.1 のような結果となった。AI を用いた避難システムは他システムと比べ「非常に危険だと思う」(2.9%)、「やや危険だと思う」(11.5%)の値が低く、その分「あまり危険だとは思わない」(37.8%)、「全く危険だとは思わない」(43.4%)の値が高い。AI を用いた避難システムは他システムより危険だと感じられにくいということが示された。

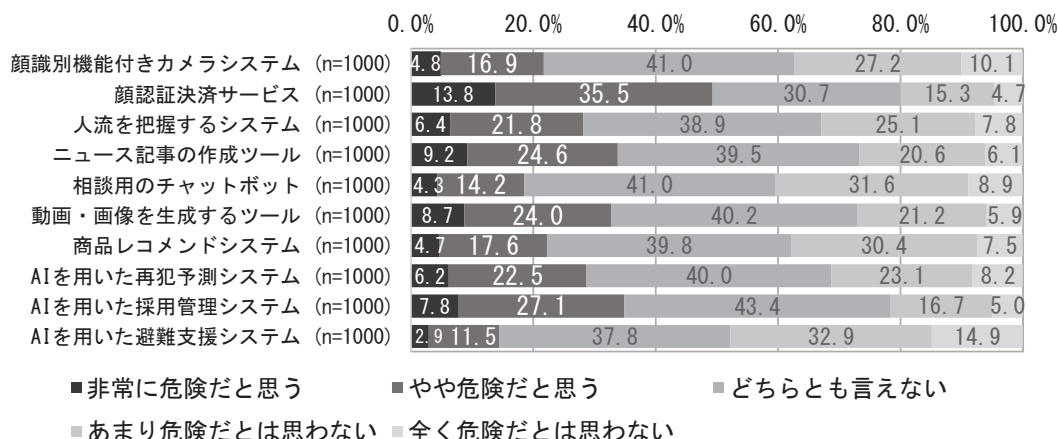


図2.3.1 各AIへの主観的危険度

図 2.3.2 は、各 AI へ感じる恐怖しさを問うたものである。こちらも同様に、「非常に怖いと思う」(4.4%)、「やや怖いと思う」(12.2%)の値が比較的低く、「あまり怖ろしいと思う」(43.4%)の値が高い。

いとは思わない」(31.2%)、「全く危険だとは思わない」(14.6%)の値が高い。AI を用いた避難支援システムは恐ろしさも感じられにくいということが明らかになった。

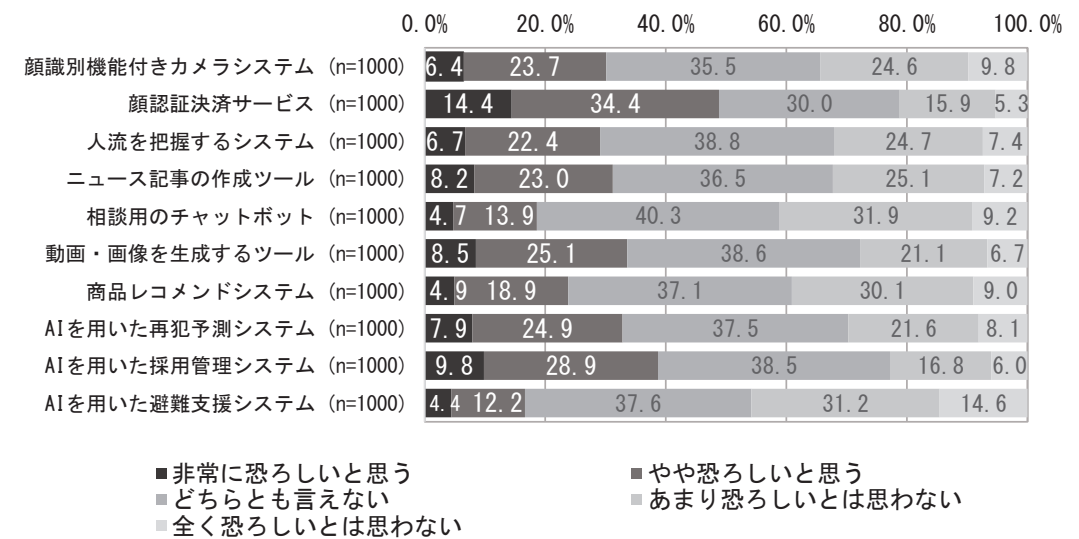


図2.3.2 各AIへの恐ろしさ

図 2.3.3 は、各 AI システムについて嫌悪感を覚える程度を問うたものである。こちらも同様に、「非常に嫌悪感を感じる」(4.7%)、「やや嫌悪感を感じる」(10.0%)の値が他より低く、「あまり嫌悪感を感じない」(29.4%)、「全く嫌悪感を感じない」(17.2%)の値が比較的に高い。AI を用いた避難システムは他より嫌悪感の少ないものとして認知されていると解釈される。

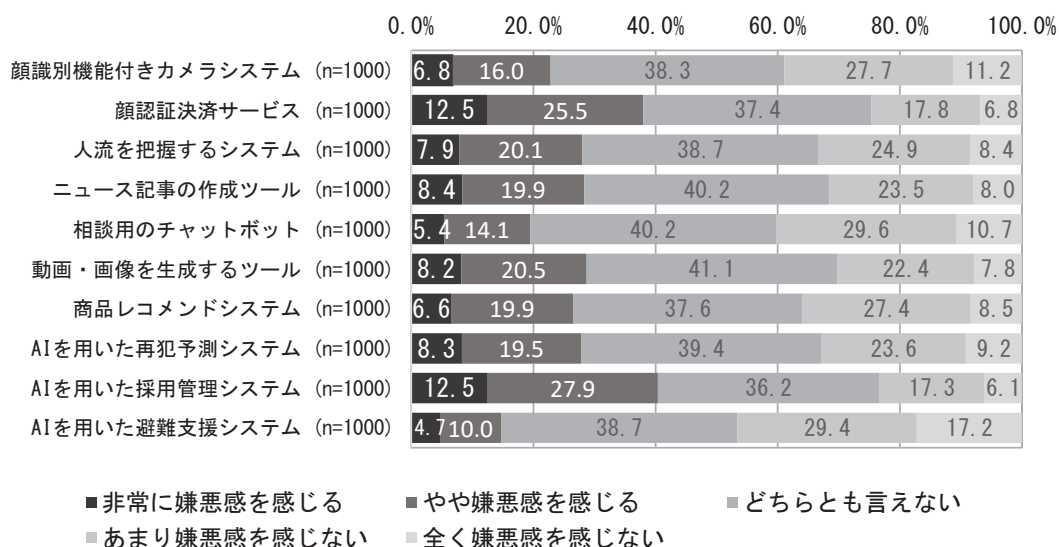


図2.3.3 各AIへの嫌悪感

図 2.3.4 は、各 AI が将来世代に及ぼす影響の大きさについて認知したものである。こちらでは、商品レコメンドシステムでは「非常に影響が大きいと思う」が 12.4%、「やや影響が大きいと思う」が 25.3%であるが、概して他に特筆すべき差異はない。

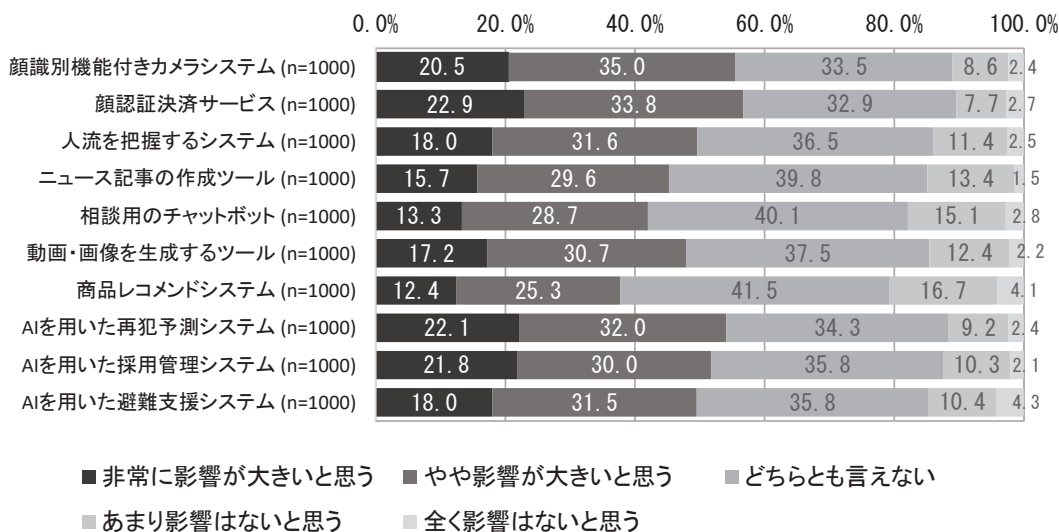


図2.3.4 各AIの将来世代への影響

図 2.3.5、図 2.3.6 は、それぞれ便益の普遍性と主観的に感じる便益の程度を各 AI システムについて問うたものである。AI を用いた避難支援システムは、前者の「非常にそう

思う」(14.6%)、「ややそう思う」(29.8%)および後者の「非常に便益を感じる」(17.0%)、「やや便益を感じる」(31.8%)の値が他システムより高い。つまり、当該システムは比較的
に個人としても社会としても便益を期待されやすいということが明らかとなった。

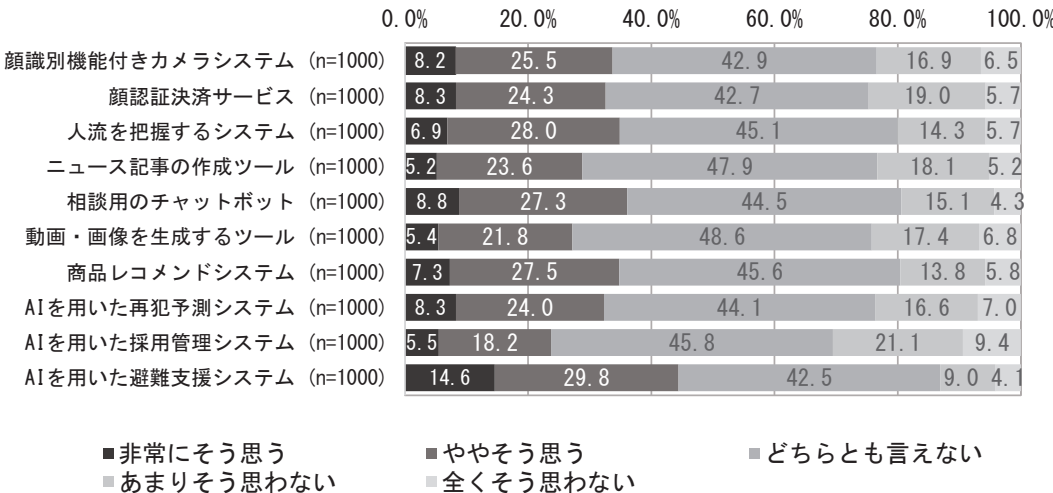


図2.3.5 誰もが同じようにメリットを享受できると思う

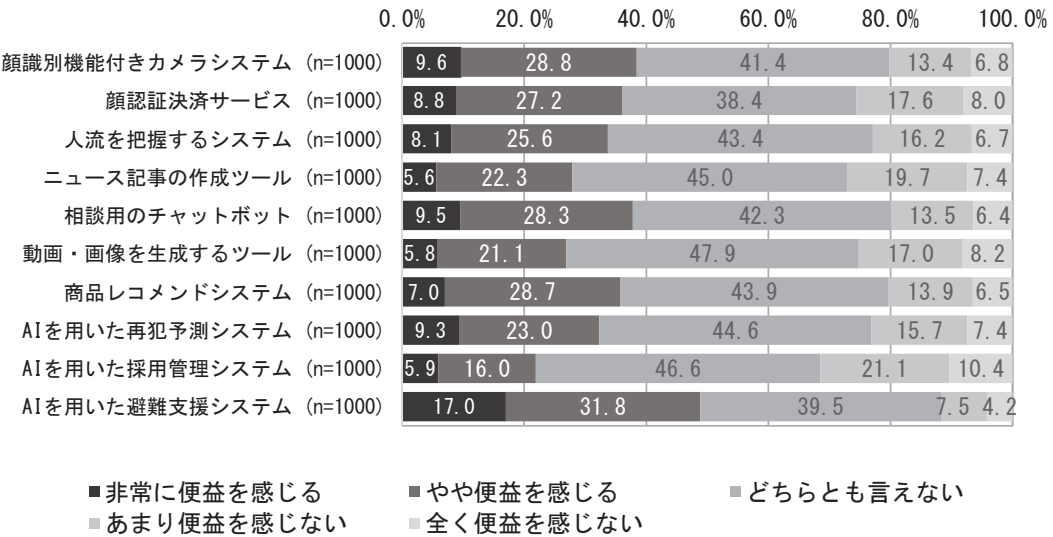


図2.3.6 各AIに対し感じる便益の程度

図 2.3.7、図 2.3.8 は、前者は倫理的な問題を感じる程度について、後者は偏見・差別の問題を引き起こす可能性が高いと感じるか否かについてを問うたものである。AIを用いた避難支援システムは、前者の「非常に倫理的問題を感じる」(5.0%)、「やや倫理的問題を

感じる」(12.4%)および後者の「非常にそう思う」(5.1%)、「ややそう思う」(12.4%)の値が他システムより高い。当該システムが他より倫理的な懸念の少ないものとして認知されているということが示された。

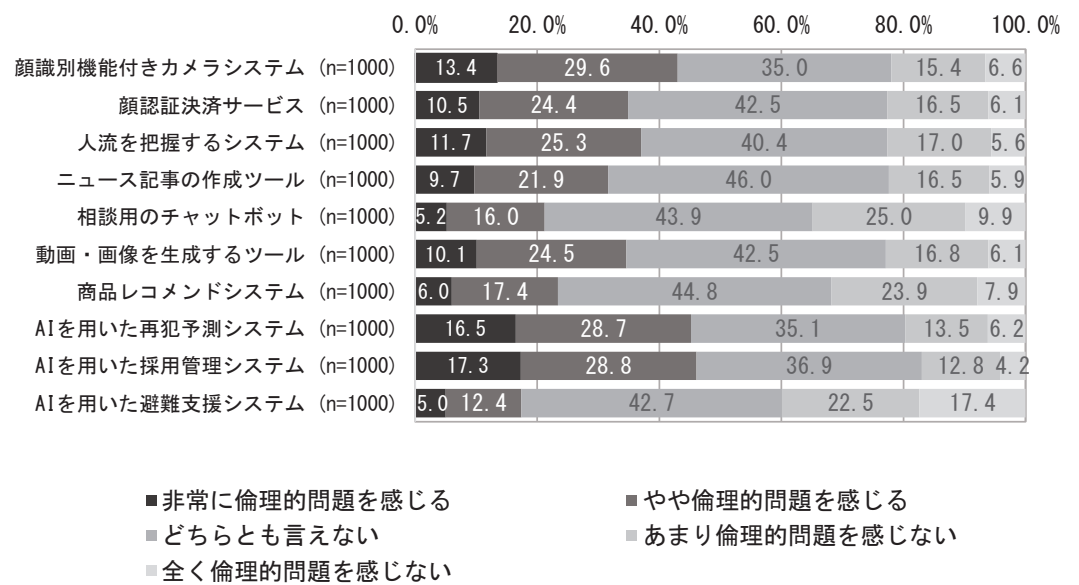


図2.3.7 各AIに対し感じる倫理的問題の程度

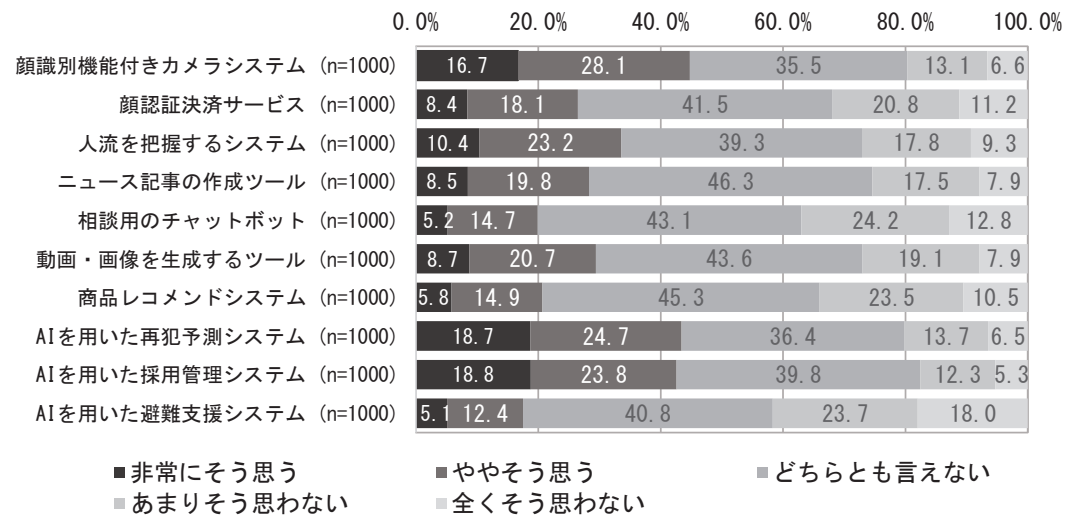


図2.3.8 偏見・差別問題を引き起こす可能性が高いと思う

図 2.3.9、2.3.10 は、それぞれ個人情報漏洩の可能性と社会的悪用の可能性を各 AI に対し問うたものである。AI を用いた避難支援システムについては、他システムと比べてど

らも「非常にそう思う」（それぞれ 8.2%、10.0%）、「ややそう思う」（それぞれ 14.9%、15.6%）の割合が低い。つまり、当該システムは他システムと比較して情報漏洩や悪用の危険性が低いものとして認知されている。

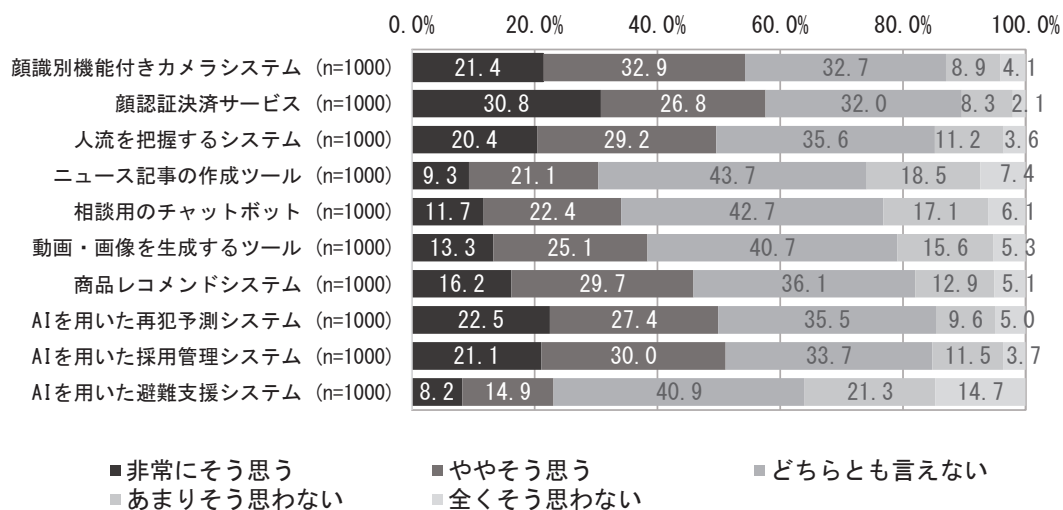


図2.3.9 個人情報漏洩の危険性が高いと思うか

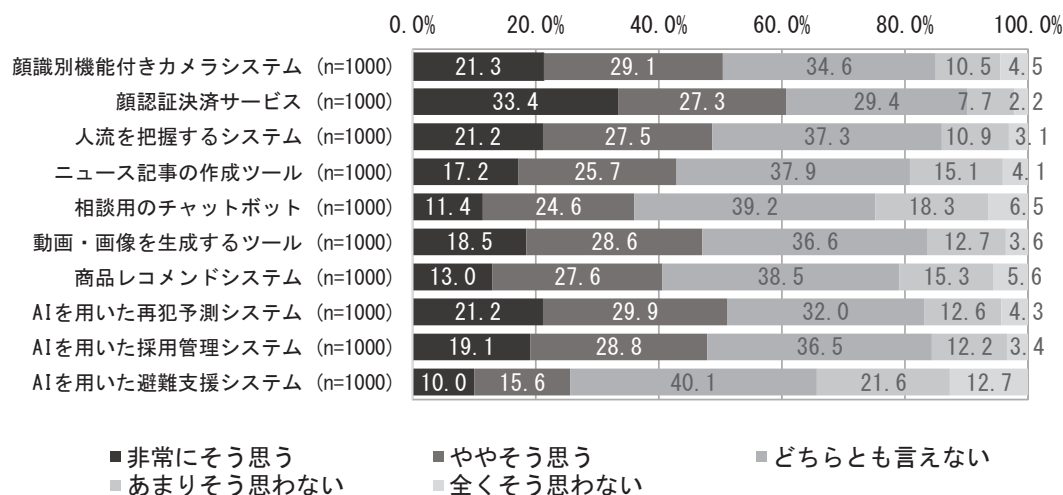


図2.3.10 社会的悪用の危険性が高いと思うか

図 2.3.11 は、各 AI システムについて国による規制の必要性が高いと思うかを問うたものである。AI による避難支援システムの「非常にそう思う」の割合(17.0%)は相談用のチャットボット(12.3%)および商品レコメンドシステム(12.0%)と比べて高いが、その他のシステムに比べては低い。当該システムについては、国による規制の必要性がそれほど強く

感じられていないということが示された。

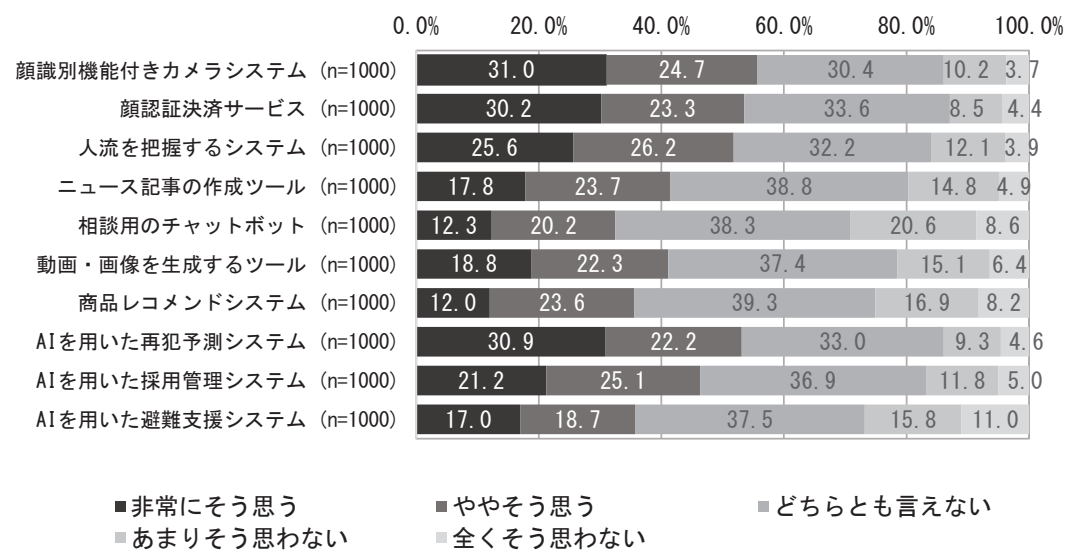


図2. 3. 11 国による規制の必要性が高いと思うか

2. 4 各 AI システムに対する主観的な理解度

続いて、各 AI システムに対して主観的にどの程度理解していると思うかについても問うた。その結果が図 2. 4. 1 である。AI を用いた避難支援システムも他システムと比べて大きな差異がなく、「非常に理解できていると思う」(4.4%)と「やや理解できていると思う」(25.5%)の合計が3割程度とそれほど理解度が高くないことがわかる。

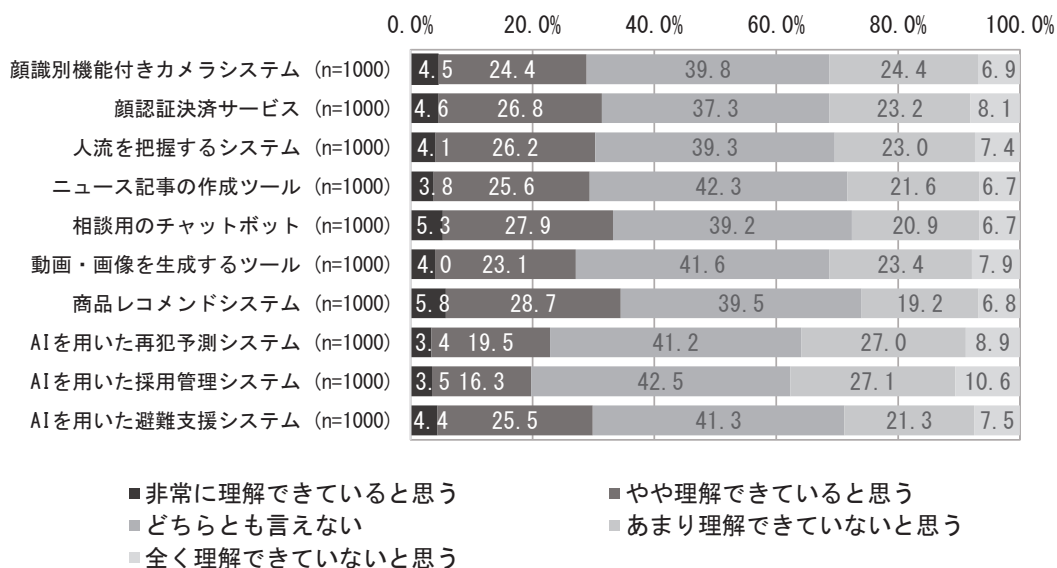


図2. 4. 1 各AIへの主観的な理解度

2. 5 AI 技術に関するリスク管理を行う組織への認知

AI 技術に関しリスク管理を行う組織としての、官公庁・大学・企業に対する認知も問うた。まず、信頼度を問うたのが図 2. 5. 1 である。大学のみわずかに「非常に信頼できる」(3. 5%)、「やや信頼できる」(23. 3%)の割合が高く、官公庁において「あまり信頼できない」(22. 9%)、「全く信頼できない」(13. 7%)の割合が高い。

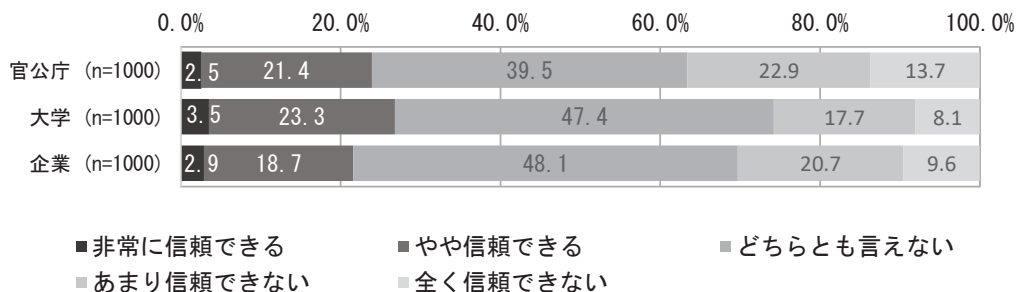


図2. 5. 1 AI技術に関するリスク管理を行う組織としての信

次に、同組織についてリスク管理を行う組織としての責任の重さを問うたのが図 2. 5. 2 である。概して「非常に責任がある」、「やや責任がある」の割合が高くどの組織も責任が重いと考えられているが、官公庁でもっとも「非常に責任がある」の割合が高く(48. 6%)、次いで企業(35. 7%)、大学(21. 0%)となっており、公的機関により重い責任があると認識されていることが明らかとなった。

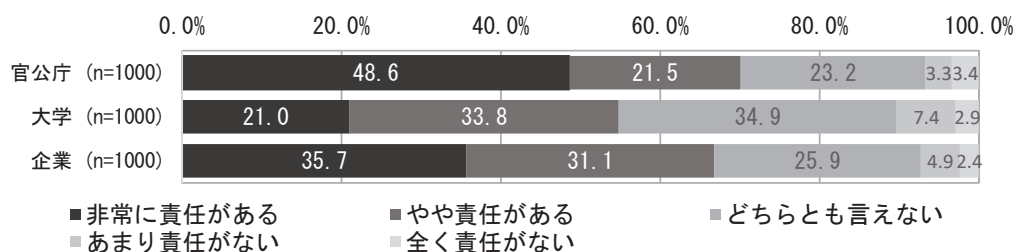


図2. 5. 2 AI技術に関するリスク管理を行う組織としての責任の重さ

3. AI システムへの各認知の因子分析

各 AI の認知を規定する共通因子を探るため、他項目と類似している Q4 (嫌悪感)、Q7 (便益の普遍性) および解釈の難しい Q5 (主観的な理解度) を除外した上で、主因子法・バリマックス回転による因子分析を行った。表 3. 1. 1 はその結果得られた因子負荷量を示したものである。固有値 1 以上を基準として 2 つの因子が得られ、それぞれ「倫理的課題」、「恐ろしさ」と命名した。

表 3. 1. 1 AI システムに関する因子分析

	因子1	因子2	共通性	
	倫理的課題	恐ろしさ	初期	因子抽出後
Q10. (前略)は、人種や性別などに関する偏見・差別に関する問題を引き起こすと思いますか。	0.885	0.204	0.987	0.825
Q9. (前略)に対して、あなたは倫理的な問題を感じますか。	0.866	0.457	0.998	0.959
Q13. (前略)に対して、あなたは国による規制が必要だと思いますか。	0.798	0.393	0.996	0.792
Q6. (前略)は、将来の世代にどの程度の影響があると思いますか。	0.673	0.313	0.973	0.551
Q11. (前略)は、個人情報が漏洩する可能性が高いと思いますか。	0.611	0.550	0.957	0.676
Q2. (前略)に対して、あなたはどの程度、危険だと思いますか。	0.211	0.953	0.998	0.952
Q3. (前略)に対して、あなたはどの程度、恐ろしいと思いますか。	0.403	0.907	0.998	0.985
Q12. (前略)は、社会的に悪用される可能性が高いと思いますか。	0.573	0.779	0.986	0.935
Q8. (前略)に関して、あなたはどの程度、便益を感じますか。	-0.368	-0.613	0.996	0.510
寄与率 (%)	40.750	39.099		
累積寄与率 (%)	40.750	79.848		

因子抽出法：主因子法 回転法：Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

この 2 因子の得点を比較するため、Slovic (1987) の認知地図に倣って、当該 2 因子を軸とした認知地図を作成した。その結果が図 3. 1. 1 である。AI を用いた避難支援システムは、他と比べて「恐ろしさ」の値も「倫理的課題」の値も低い。つまり、当該システムが他より恐ろしくないもの、また倫理的な懸念も少ないものとして認知されているということが明らかになった。

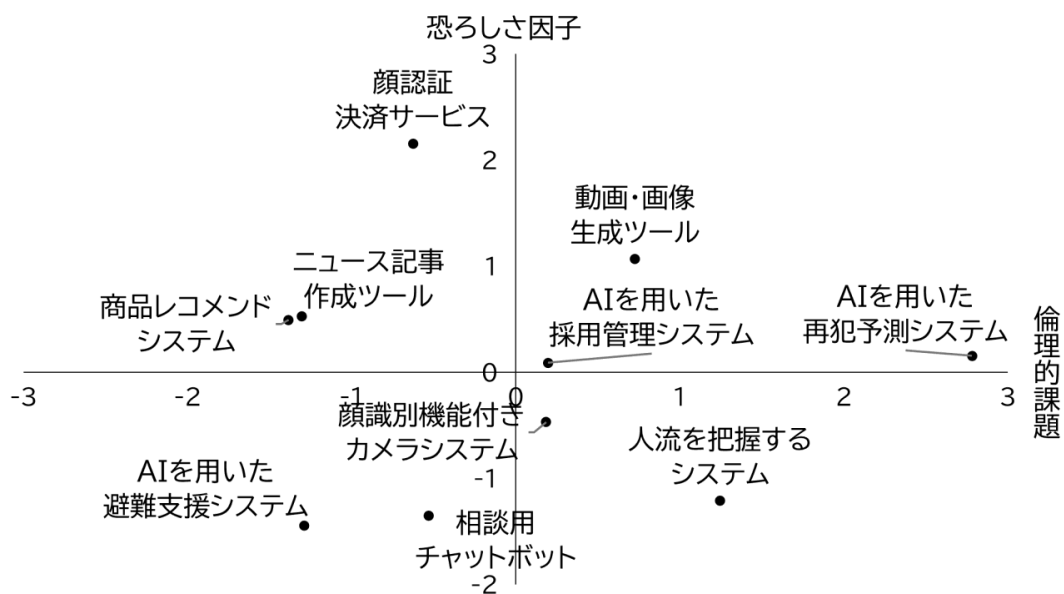


図 3.1.1 「倫理的課題」「恐ろしさ」を軸とした認知地図

4. おわりに

以上のように、「AI を用いた避難支援システム」は、他のシステムと比べて理解度が高いわけでないにもかかわらず恐ろしさや倫理的課題の少ないものとして認知され、主観・一般的な便益も期待されやすいということが明らかとなった。

本研究では、顔認証システムに関する個人情報保護や再犯予測システムなどの倫理的課題など、よく報道されるような一般的な AI の問題に対しては多くの人が不安に思っているということが確認された。一方で「AI を用いた避難支援システム」などの災害にかかわるシステムは、人の命を救うという面においてわかりやすく短絡的に便益が期待されやすい反面、恐ろしさや倫理的課題などの問題が認識されにくく過剰な期待感がもたれているということが明らかとなった。

本研究の残された課題としては、次のようなものがあげられる。

- ・ これらの問題を AI の開発者や災害研究者がどの程度認識しているか
- ・ AI に対する素朴な認知構造や「AI を用いた避難支援システム」への期待などは日本人特有の問題なのか、それ以外の国においても共通する課題なのか
- ・ なぜ防災に関する技術が素朴な受容につながりやすいのか

今後はこれらについて研究を積み重ねていくことが望まれる。

引用・参考文献

- アバナード（2024）「日本の企業市民活動で、災害時に安全な場所へ案内する「AI 避難支援アプリ」を開発」（参照年月日：2024. 9. 14）, <https://www.avanade.com/jajp/about-avanade/story/corporate-citizenship/ai-evacuation-assistance-app>
- 中川裕志（2020）「AI 倫理指針の動向とパーソナル AI エージェント」『情報通信政策研究』, 3(2), 1-24.
- 野田五十樹・山下倫央（2017）「人流シミュレーション：6. 網羅的シミュレーションを用いた社会システム設計支援」『情報処理』, 58(7), 590-593.
- 野田五十樹（2018）「AI/IT と防災」『災害情報』, 16(2), 133-138.
- Slovic, P. (1987) Perception of risk, *Science*, 236(4799), 280-285.

附属資料（調査項目の単純集計結果）

（SA）Q1. 以下の言葉について知っていますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	知っている	知らない
1. 人工知能（AI）	n	1000	912	88
	%	100.0	91.2	8.8
2. 生成系AI	n	1000	533	467
	%	100.0	53.3	46.7
3. ディープラーニング	n	1000	416	584
	%	100.0	41.6	58.4
4. 機械学習	n	1000	443	557
	%	100.0	44.3	55.7
5. 大型言語モデル	n	1000	146	854
	%	100.0	14.6	85.4
6. ニューラルネットワーク	n	1000	181	819
	%	100.0	18.1	81.9
7. GANs	n	1000	60	940
	%	100.0	6.0	94.0
8. 強化学習	n	1000	148	852
	%	100.0	14.8	85.2
9. 自然言語処理	n	1000	193	807
	%	100.0	19.3	80.7
10. フレーム問題	n	1000	86	914
	%	100.0	8.6	91.4
11. ハルミネーション	n	1000	53	947
	%	100.0	5.3	94.7

（SA）Q2. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムに対して、あなたはどの程度、危険だと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に危険 だと思う	やや危険 だと思う	どちらとも 言えない	あまり危 険だとは思 わない	全く危険 だとは思 わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n	1000	48	169	410	272	101
	%	100.0	4.8	16.9	41.0	27.2	10.1
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n	1000	138	355	307	153	47
	%	100.0	13.8	35.5	30.7	15.3	4.7
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n	1000	64	218	389	251	78
	%	100.0	6.4	21.8	38.9	25.1	7.8
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n	1000	92	246	395	206	61
	%	100.0	9.2	24.6	39.5	20.6	6.1
5. 【相談用のチャットボット】 利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	n	1000	43	142	410	316	89
	%	100.0	4.3	14.2	41.0	31.6	8.9
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n	1000	87	240	402	212	59
	%	100.0	8.7	24.0	40.2	21.2	5.9
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n	1000	47	176	398	304	75
	%	100.0	4.7	17.6	39.8	30.4	7.5
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n	1000	62	225	400	231	82
	%	100.0	6.2	22.5	40.0	23.1	8.2
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n	1000	78	271	434	167	50
	%	100.0	7.8	27.1	43.4	16.7	5.0
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n	1000	29	115	378	329	149
	%	100.0	2.9	11.5	37.8	32.9	14.9

(SA) Q3. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムに対して、あなたはどの程度、恐ろしいと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に恐ろしいと思う	やや恐ろしいと思う	どちらとも言えない	あまり恐ろしいとは思わない	全く恐ろしいとは思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n %	1000 100.0	64 6.4	237 23.7	355 35.5	246 24.6	98 9.8
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n %	1000 100.0	144 14.4	344 34.4	300 30.0	159 15.9	53 5.3
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n %	1000 100.0	67 6.7	224 22.4	388 38.8	247 24.7	74 7.4
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n %	1000 100.0	82 8.2	230 23.0	365 36.5	251 25.1	72 7.2
5. 【相談用のチャットボット】 利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	n %	1000 100.0	47 4.7	139 13.9	403 40.3	319 31.9	92 9.2
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n %	1000 100.0	85 8.5	251 25.1	386 38.6	211 21.1	67 6.7
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n %	1000 100.0	49 4.9	189 18.9	371 37.1	301 30.1	90 9.0
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n %	1000 100.0	79 7.9	249 24.9	375 37.5	216 21.6	81 8.1
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n %	1000 100.0	98 9.8	289 28.9	385 38.5	168 16.8	60 6.0
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n %	1000 100.0	44 4.4	122 12.2	376 37.6	312 31.2	146 14.6

(SA) Q4. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムに対して、あなたはどの程度、嫌悪感を感じますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に嫌悪感を感じる	やや嫌悪感を感じる	どちらとも言えない	あまり嫌悪感を感じない	全く嫌悪感を感じない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n %	1000 100.0	68 6.8	160 16.0	383 38.3	277 27.7	112 11.2
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n %	1000 100.0	125 12.5	255 25.5	374 37.4	178 17.8	68 6.8
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n %	1000 100.0	79 7.9	201 20.1	387 38.7	249 24.9	84 8.4
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n %	1000 100.0	84 8.4	199 19.9	402 40.2	235 23.5	80 8.0
5. 【相談用のチャットボット】 利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	n %	1000 100.0	54 5.4	141 14.1	402 40.2	296 29.6	107 10.7
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n %	1000 100.0	82 8.2	205 20.5	411 41.1	224 22.4	78 7.8
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n %	1000 100.0	66 6.6	199 19.9	376 37.6	274 27.4	85 8.5
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n %	1000 100.0	83 8.3	195 19.5	394 39.4	236 23.6	92 9.2
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n %	1000 100.0	125 12.5	279 27.9	362 36.2	173 17.3	61 6.1
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n %	1000 100.0	47 4.7	100 10.0	387 38.7	294 29.4	172 17.2

(SA) Q5. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムの仕組みについて、あなたはどの程度、理解できていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に理解 できている と思う	やや理解 できている と思う	どちらと も言えな い	あまり理 解できて いないと 思う	全く理解 できてい ないと思 う
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】	n	1000	45	244	398	244	69
犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	%	100.0	4.5	24.4	39.8	24.4	6.9
2. 【顔認証決済サービス】	n	1000	46	268	373	232	81
顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	%	100.0	4.6	26.8	37.3	23.2	8.1
3. 【人流を把握するシステム】	n	1000	41	262	393	230	74
通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	%	100.0	4.1	26.2	39.3	23.0	7.4
4. 【ニュース記事の作成ツール】	n	1000	38	256	423	216	67
現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	%	100.0	3.8	25.6	42.3	21.6	6.7
5. 【相談用のチャットボット】	n	1000	53	279	392	209	67
利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	%	100.0	5.3	27.9	39.2	20.9	6.7
6. 【動画・画像を生成するツール】	n	1000	40	231	416	234	79
ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	%	100.0	4.0	23.1	41.6	23.4	7.9
7. 【商品レコメンドシステム】	n	1000	58	287	395	192	68
ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	%	100.0	5.8	28.7	39.5	19.2	6.8
8. 【AIを用いた再犯予測システム】	n	1000	34	195	412	270	89
犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	%	100.0	3.4	19.5	41.2	27.0	8.9
9. 【AIを用いた採用管理システム】	n	1000	35	163	425	271	106
履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	%	100.0	3.5	16.3	42.5	27.1	10.6
10. 【AIを用いた避難支援システム】	n	1000	44	255	413	213	75
災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	%	100.0	4.4	25.5	41.3	21.3	7.5

(SA) Q6. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムは、将来の世代にどの程度の影響があると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に影響 が大きいと 思う	やや影響 が大きいと 思う	どちらと も言えな い	あまり影 響はないと 思う	全く影響 はないと思 う
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】	n	1000	205	350	335	86	24
犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	%	100.0	20.5	35.0	33.5	8.6	2.4
2. 【顔認証決済サービス】	n	1000	229	338	329	77	27
顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	%	100.0	22.9	33.8	32.9	7.7	2.7
3. 【人流を把握するシステム】	n	1000	180	316	365	114	25
通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	%	100.0	18.0	31.6	36.5	11.4	2.5
4. 【ニュース記事の作成ツール】	n	1000	157	296	398	134	15
現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	%	100.0	15.7	29.6	39.8	13.4	1.5
5. 【相談用のチャットボット】	n	1000	133	287	401	151	28
利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	%	100.0	13.3	28.7	40.1	15.1	2.8
6. 【動画・画像を生成するツール】	n	1000	172	307	375	124	22
ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	%	100.0	17.2	30.7	37.5	12.4	2.2
7. 【商品レコメンドシステム】	n	1000	124	253	415	167	41
ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	%	100.0	12.4	25.3	41.5	16.7	4.1
8. 【AIを用いた再犯予測システム】	n	1000	221	320	343	92	24
犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	%	100.0	22.1	32.0	34.3	9.2	2.4
9. 【AIを用いた採用管理システム】	n	1000	218	300	358	103	21
履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	%	100.0	21.8	30.0	35.8	10.3	2.1
10. 【AIを用いた避難支援システム】	n	1000	180	315	358	104	43
災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	%	100.0	18.0	31.5	35.8	10.4	4.3

(SA) Q7. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムは、誰もが同じようにメリットを享受できるものだと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常にそう 思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそ う思わな い	全くそう 思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n %	1000 100.0	82 8.2	255 25.5	429 42.9	169 16.9	65 6.5
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n %	1000 100.0	83 8.3	243 24.3	427 42.7	190 19.0	57 5.7
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n %	1000 100.0	69 6.9	280 28.0	451 45.1	143 14.3	57 5.7
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n %	1000 100.0	52 5.2	236 23.6	479 47.9	181 18.1	52 5.2
5. 【相談用のチャットボット】 利用者とは話し、利用者の質問に答えるAI	n %	1000 100.0	88 8.8	273 27.3	445 44.5	151 15.1	43 4.3
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n %	1000 100.0	54 5.4	218 21.8	486 48.6	174 17.4	68 6.8
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n %	1000 100.0	73 7.3	275 27.5	456 45.6	138 13.8	58 5.8
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n %	1000 100.0	83 8.3	240 24.0	441 44.1	166 16.6	70 7.0
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n %	1000 100.0	55 5.5	182 18.2	458 45.8	211 21.1	94 9.4
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n %	1000 100.0	146 14.6	298 29.8	425 42.5	90 9.0	41 4.1

(SA) Q8. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムに関して、あなたはどの程度、便益を感じますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に便益 を感じる	やや便益 を感じる	どちらとも 言えない	あまり便 益を感じ ない	全く便益 を感じな い
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n %	1000 100.0	96 9.6	288 28.8	414 41.4	134 13.4	68 6.8
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n %	1000 100.0	88 8.8	272 27.2	384 38.4	176 17.6	80 8.0
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n %	1000 100.0	81 8.1	256 25.6	434 43.4	162 16.2	67 6.7
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n %	1000 100.0	56 5.6	223 22.3	450 45.0	197 19.7	74 7.4
5. 【相談用のチャットボット】 利用者とは話し、利用者の質問に答えるAI	n %	1000 100.0	95 9.5	283 28.3	423 42.3	135 13.5	64 6.4
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n %	1000 100.0	58 5.8	211 21.1	479 47.9	170 17.0	82 8.2
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n %	1000 100.0	70 7.0	287 28.7	439 43.9	139 13.9	65 6.5
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n %	1000 100.0	93 9.3	230 23.0	446 44.6	157 15.7	74 7.4
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n %	1000 100.0	59 5.9	160 16.0	466 46.6	211 21.1	104 10.4
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n %	1000 100.0	170 17.0	318 31.8	395 39.5	75 7.5	42 4.2

(SA) Q9. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムに対して、あなたは倫理的問題を感じますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に倫理的問題を感じる	やや倫理的問題を感じる	どちらとも言いえない	あまり倫理的問題を感じない	全く倫理的問題を感じない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】	n	1000	134	296	350	154	66
犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	%	100.0	13.4	29.6	35.0	15.4	6.6
2. 【顔認証決済サービス】	n	1000	105	244	425	165	61
顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	%	100.0	10.5	24.4	42.5	16.5	6.1
3. 【人流を把握するシステム】	n	1000	117	253	404	170	56
通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	%	100.0	11.7	25.3	40.4	17.0	5.6
4. 【ニュース記事の作成ツール】	n	1000	97	219	460	165	59
現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	%	100.0	9.7	21.9	46.0	16.5	5.9
5. 【相談用のチャットボット】	n	1000	52	160	439	250	99
利用者との対話し、利用者の質問に答えるAI	%	100.0	5.2	16.0	43.9	25.0	9.9
6. 【動画・画像を生成するツール】	n	1000	101	245	425	168	61
ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	%	100.0	10.1	24.5	42.5	16.8	6.1
7. 【商品レコメンドシステム】	n	1000	60	174	448	239	79
ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	%	100.0	6.0	17.4	44.8	23.9	7.9
8. 【AIを用いた再犯予測システム】	n	1000	165	287	351	135	62
犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	%	100.0	16.5	28.7	35.1	13.5	6.2
9. 【AIを用いた採用管理システム】	n	1000	173	288	369	128	42
履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	%	100.0	17.3	28.8	36.9	12.8	4.2
10. 【AIを用いた避難支援システム】	n	1000	50	124	427	225	174
災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	%	100.0	5.0	12.4	42.7	22.5	17.4

(SA) Q10. 人工知能 (AI) を使用する以下のようなシステムは、人種や性別などに関する偏見・差別に関する問題を引き起こすと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常にそう思う	ややそう思う	どちらとも言いえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】	n	1000	167	281	355	131	66
犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	%	100.0	16.7	28.1	35.5	13.1	6.6
2. 【顔認証決済サービス】	n	1000	84	181	415	208	112
顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	%	100.0	8.4	18.1	41.5	20.8	11.2
3. 【人流を把握するシステム】	n	1000	104	232	393	178	93
通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	%	100.0	10.4	23.2	39.3	17.8	9.3
4. 【ニュース記事の作成ツール】	n	1000	85	198	463	175	79
現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	%	100.0	8.5	19.8	46.3	17.5	7.9
5. 【相談用のチャットボット】	n	1000	52	147	431	242	128
利用者との対話し、利用者の質問に答えるAI	%	100.0	5.2	14.7	43.1	24.2	12.8
6. 【動画・画像を生成するツール】	n	1000	87	207	436	191	79
ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	%	100.0	8.7	20.7	43.6	19.1	7.9
7. 【商品レコメンドシステム】	n	1000	58	149	453	235	105
ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	%	100.0	5.8	14.9	45.3	23.5	10.5
8. 【AIを用いた再犯予測システム】	n	1000	187	247	364	137	65
犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	%	100.0	18.7	24.7	36.4	13.7	6.5
9. 【AIを用いた採用管理システム】	n	1000	188	238	398	123	53
履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	%	100.0	18.8	23.8	39.8	12.3	5.3
10. 【AIを用いた避難支援システム】	n	1000	51	124	408	237	180
災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	%	100.0	5.1	12.4	40.8	23.7	18.0

(SA) Q11. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムは、個人情報漏洩する可能性が高いと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常にそう 思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそ う思わな い	全くそう 思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n	1000	214	329	327	89	41
	%	100.0	21.4	32.9	32.7	8.9	4.1
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n	1000	308	268	320	83	21
	%	100.0	30.8	26.8	32.0	8.3	2.1
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n	1000	204	292	356	112	36
	%	100.0	20.4	29.2	35.6	11.2	3.6
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n	1000	93	211	437	185	74
	%	100.0	9.3	21.1	43.7	18.5	7.4
5. 【相談用のチャットボット】 利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	n	1000	117	224	427	171	61
	%	100.0	11.7	22.4	42.7	17.1	6.1
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n	1000	133	251	407	156	53
	%	100.0	13.3	25.1	40.7	15.6	5.3
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n	1000	162	297	361	129	51
	%	100.0	16.2	29.7	36.1	12.9	5.1
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n	1000	225	274	355	96	50
	%	100.0	22.5	27.4	35.5	9.6	5.0
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n	1000	211	300	337	115	37
	%	100.0	21.1	30.0	33.7	11.5	3.7
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n	1000	82	149	409	213	147
	%	100.0	8.2	14.9	40.9	21.3	14.7

(SA) Q12. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムは、社会的に悪用される可能性が高いと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常にそう 思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそ う思わな い	全くそう 思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】 犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	n	1000	213	291	346	105	45
	%	100.0	21.3	29.1	34.6	10.5	4.5
2. 【顔認証決済サービス】 顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	n	1000	334	273	294	77	22
	%	100.0	33.4	27.3	29.4	7.7	2.2
3. 【人流を把握するシステム】 通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	n	1000	212	275	373	109	31
	%	100.0	21.2	27.5	37.3	10.9	3.1
4. 【ニュース記事の作成ツール】 現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	n	1000	172	257	379	151	41
	%	100.0	17.2	25.7	37.9	15.1	4.1
5. 【相談用のチャットボット】 利用者と対話し、利用者の質問に答えるAI	n	1000	114	246	392	183	65
	%	100.0	11.4	24.6	39.2	18.3	6.5
6. 【動画・画像を生成するツール】 ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	n	1000	185	286	366	127	36
	%	100.0	18.5	28.6	36.6	12.7	3.6
7. 【商品レコメンドシステム】 ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	n	1000	130	276	385	153	56
	%	100.0	13.0	27.6	38.5	15.3	5.6
8. 【AIを用いた再犯予測システム】 犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	n	1000	212	299	320	126	43
	%	100.0	21.2	29.9	32.0	12.6	4.3
9. 【AIを用いた採用管理システム】 履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	n	1000	191	288	365	122	34
	%	100.0	19.1	28.8	36.5	12.2	3.4
10. 【AIを用いた避難支援システム】 災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	n	1000	100	156	401	216	127
	%	100.0	10.0	15.6	40.1	21.6	12.7

(SA) Q13. 人工知能（AI）を使用する以下のようなシステムに対して、あなたは国による規制が必要だと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常にそう 思う	ややそう 思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	全くそう 思わない
1. 【顔識別機能付きカメラシステム】	n	1000	310	247	304	102	37
犯罪歴のある人など特定の人物を識別することができるAI	%	100.0	31.0	24.7	30.4	10.2	3.7
2. 【顔認証決済サービス】	n	1000	302	233	336	85	44
顔をスキャンするだけで振込や支払などができるAI	%	100.0	30.2	23.3	33.6	8.5	4.4
3. 【人流を把握するシステム】	n	1000	256	262	322	121	39
通行人の顔を識別したり、追跡したりするなど、人の流れを可視化するAI	%	100.0	25.6	26.2	32.2	12.1	3.9
4. 【ニュース記事の作成ツール】	n	1000	178	237	388	148	49
現在起こっている出来事などの情報からニュースのコンテンツを生成するAI	%	100.0	17.8	23.7	38.8	14.8	4.9
5. 【相談用のチャットボット】	n	1000	123	202	383	206	86
利用者とは話し、利用者の質問に答えるAI	%	100.0	12.3	20.2	38.3	20.6	8.6
6. 【動画・画像を生成するツール】	n	1000	188	223	374	151	64
ユーザーの提供する情報や指示に基づき、動画や画像を生成するAI	%	100.0	18.8	22.3	37.4	15.1	6.4
7. 【商品レコメンドシステム】	n	1000	120	236	393	169	82
ユーザーの閲覧履歴・購買履歴などから、好みに合う商品を推奨するAI	%	100.0	12.0	23.6	39.3	16.9	8.2
8. 【AIを用いた再犯予測システム】	n	1000	309	222	330	93	46
犯罪歴のある人の再犯可能性を評価するAI	%	100.0	30.9	22.2	33.0	9.3	4.6
9. 【AIを用いた採用管理システム】	n	1000	212	251	369	118	50
履歴書や面接時の表情や仕草などから、適性を評価し、採用を支援するAI	%	100.0	21.2	25.1	36.9	11.8	5.0
10. 【AIを用いた避難支援システム】	n	1000	170	187	375	158	110
災害時の被害状況を予測し、最適な避難路の提案を行うAI	%	100.0	17.0	18.7	37.5	15.8	11.0

(SA) Q14. 人工知能（AI）技術について、次の組織はAI 技術に関するリスク管理を行う組織として、どれくらい信頼できますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に信頼 できる	やや信頼 できる	どちらと も言えな い	あまり信 頼できな い	全く信頼 できない
1. 官公庁	%	1000	25	214	395	229	137
	n	100.0	2.5	21.4	39.5	22.9	13.7
2. 大学	%	1000	35	233	474	177	81
	n	100.0	3.5	23.3	47.4	17.7	8.1
3. 企業	%	1000	29	187	481	207	96
	n	100.0	2.9	18.7	48.1	20.7	9.6

(SA) Q15. 人工知能（AI）技術について、次の組織はAI 技術に関するリスク管理を行う組織として、どれくらい責任があると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	非常に責任 がある	やや責任 がある	どちらと も言えな い	あまり責 任がない	全く責任 がない
1. 官公庁	n	1000	486	215	232	33	34
	%	100.0	48.6	21.5	23.2	3.3	3.4
2. 大学	n	1000	210	338	349	74	29
	%	100.0	21.0	33.8	34.9	7.4	2.9
3. 企業	n	1000	357	311	259	49	24
	%	100.0	35.7	31.1	25.9	4.9	2.4

(SA) Q16. 人工知能（AI）について、以下から、どのくらいの頻度で情報を得ていますか。それぞれについて、あてはまるものを選択してください。

		全体	ほとんど毎日	週に4、5日	週に2、3日	週に1日程度	月に数回	年に数回	ほとんどない
1. マスコミ（テレビや新聞など）	n	1000	181	82	123	169	111	56	278
	%	100.0	18.1	8.2	12.3	16.9	11.1	5.6	27.8
2. SNS（X=旧TwitterやFacebookなど）	n	1000	154	55	86	109	83	46	467
	%	100.0	15.4	5.5	8.6	10.9	8.3	4.6	46.7
3. 動画共有サイト（YouTubeなど）	n	1000	131	63	88	127	98	53	440
	%	100.0	13.1	6.3	8.8	12.7	9.8	5.3	44.0
4. インターネットのニュースサイト	n	1000	205	91	130	139	107	70	258
	%	100.0	20.5	9.1	13.0	13.9	10.7	7.0	25.8
5. 専門的な書籍	n	1000	14	26	47	82	100	89	642
	%	100.0	1.4	2.6	4.7	8.2	10.0	8.9	64.2
6. 官公庁の公式ウェブサイト	n	1000	7	13	32	48	60	89	751
	%	100.0	0.7	1.3	3.2	4.8	6.0	8.9	75.1
7. テクノロジー企業の公式ウェブサイト	n	1000	8	17	43	56	76	105	695
	%	100.0	0.8	1.7	4.3	5.6	7.6	10.5	69.5
8. 人工知能に関する講義やセミナー	n	1000	4	10	24	40	34	62	826
	%	100.0	0.4	1.0	2.4	4.0	3.4	6.2	82.6
9. SF小説など架空の作品	n	1000	9	17	36	45	57	125	711
	%	100.0	0.9	1.7	3.6	4.5	5.7	12.5	71.1
10. 家族や友人など周りの人	n	1000	59	48	76	87	81	133	516
	%	100.0	5.9	4.8	7.6	8.7	8.1	13.3	51.6

(SA) Q18. あなたの現在の職業を選択してください。

	n	%
全体	1000	100.0
会社員	404	40.4
会社役員・管理職	49	4.9
公務員・団体職員	54	5.4
自営業	41	4.1
自由業・専門職	59	5.9
派遣・契約社員	65	6.5
パート・アルバイト	127	12.7
予備校生	1	0.1
専門学校生・短期大学生・大学生・大学院生	25	2.5
専業主婦・専業主夫	91	9.1
無職	75	7.5
その他	9	0.9

(SA) Q19. あなたのご家庭の世帯年収をお答えください。※手取りではなく、税金を含めた総支給額でお答えください。

	n	%
全体	1000	100.0
100万円未満	38	3.8
100万円以上～200万円未満	42	4.2
200万円以上～300万円未満	68	6.8
300万円以上～400万円未満	99	9.9
400万円以上～500万円未満	83	8.3
500万円以上～600万円未満	70	7.0
600万円以上～700万円未満	67	6.7
700万円以上～800万円未満	58	5.8
800万円以上～900万円未満	44	4.4
900万円以上～1,000万円未満	48	4.8
1,000万円以上～1,200万円未満	59	5.9
1,200万円以上～1,500万円未満	40	4.0
1,500万円以上～2,000万円未満	32	3.2
2,000万円以上	30	3.0
わからない	76	7.6
答えたくない	146	14.6

(SA) Q20. あなたの最終学歴をお答えください。

	n	%
全体	1000	100.0
小学校・中学校（及び旧制小学校）	11	1.1
高校（及び旧制中学校）	138	13.8
短大・専門学校	182	18.2
大学（及び旧制高校）	542	54.2
大学院	80	8.0
その他：	2	0.2
答えたくない	45	4.5

(SA) 未既婚

	n	%
全体	1000	100.0
既婚	518	51.8
未婚	482	48.2

(SA) 子供の有無

	n	%
全体	1000	100.0
あり	420	42.0
なし	580	58.0

(SA) 職種

	n	%
全体	1000	100.0
営業・販売	99	9.9
研究・開発・技術者	85	8.5
総務・人事	18	1.8
財務・経理	21	2.1
企画・マーケティング	31	3.1
広報・広告・デザイン	5	0.5
事務職	114	11.4
管理職	34	3.4
会社経営・役員	16	1.6
公務員・団体職員	45	4.5
教職員	14	1.4
専門職(医師・看護師・弁護士など)	61	6.1
自由業	36	3.6
自営業	36	3.6
パート・アルバイト	103	10.3
契約社員・派遣社員	52	5.2
専業主婦(主夫)	98	9.8
無職	62	6.2
小学生	0	0.0
中学生	0	0.0
高校生	0	0.0
短大・専門学校生	3	0.3
大学生	26	2.6
大学院生	4	0.4
その他	37	3.7

(SA) 同居家族の数

	n	%
全体	1000	100.0
0人	257	25.7
1人	271	27.1
2人	222	22.2
3人	149	14.9
4人	76	7.6
5人	19	1.9
6人	5	0.5
7人以上	1	0.1

(SA) 最終学歴

	n	%
全体	1000	100.0
中学校卒	13	1.3
高校卒	140	14.0
専門学校卒	125	12.5
短大・高専卒	80	8.0
大学卒	526	52.6
大学院卒	72	7.2
在学中	33	3.3
その他	11	1.1

(SA) 世帯年収

	n	%
全体	1000	100.0
～400万円	321	32.1
401万円～600万円	217	21.7
601万円～800万円	156	15.6
801万円～1000万円	118	11.8
1001万円～1200万円	76	7.6
1201万円～1500万円	43	4.3
1501万円以上	69	6.9

(SA) 住居形態

	n	%
全体	1000	100.0
持ち家・一戸建て	272	27.2
持ち家・マンション	224	22.4
賃貸・一戸建て	27	2.7
賃貸・マンション、アパート	421	42.1
寮・社宅	36	3.6
その他	20	2.0

(SA) 運転免許の所持

	n	%
全体	1000	100.0
はい	828	82.8
いいえ	172	17.2

(SA) 自家用車の所有

	n	%
全体	1000	100.0
本人が所有	214	21.4
家族が所有	227	22.7
所有していない	559	55.9